

「農とくらし」の授業が朝日新聞に取り上げられました！

収穫した夏野菜を手に喜ぶ女子大生ら
|| 我孫子市下ケ戸



夏野菜こんなに授業で農ガール

我孫子・川村学園女子大

我孫子市の川村学園女子大学が、昨年からはじめた野菜作りの授業が盛況だ。今年には昨年の1・5倍にあたる43人が参加。7日は学生たちが手塩にかけた夏野菜を炎天下で収穫し、心地よい汗を流した。授業は大学裏手の使われ

ていなかった農地を活用。手賀沼のほとりで農園を営む今村直美さん(45)から毎週、種まきや苗作りなどの指導を受けている。前期は「農とくらし」をテーマにした選択科目で、昨年は6学科から1年生29人が受講。人気が高かったため、今年には授業を午前と午後に分け、農地も約800平方メートルに広げて募集した。

この日収穫したのはピーマン、ナス、ミニトマト、ズッキーニの4種類。学生たちは長靴に軍手姿で、大きく育ったみずみずしい野菜をハサミで丁寧に切り取った。栄養士を目指す生活文化学科1年の坂本佳菜江さん(18)は「新鮮な野菜がとれてうれしい。ミニトマトを冷やして食べたい」と笑顔で話した。